

# 平成26年度 事業報告書

平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで

特定非営利活動法人 自然環境復元協会

## 1 事業の成果

### (1) 特定非営利活動に係る事業

#### ① 環境教育及び環境人材の育成に係る活動

- 1) 環境再生医資格認定講習
  - ・北海道、11/23-24、北海道科学大学、初級・中級(自然)、受講者数(初級0名、中級1名)
  - ・東京都、11/1-2、東京大学(文京キャンパス)、初級・中級(自然・教育)・上級、受講者数(初級7名、中級6名、上級3名)平成26年度をもって、一般講習による認定者数は初級632名、中級389名、上級76名となった。
- 2) 認定校制度
  - ・33校より合計287名の認定者を輩出した。認定校からの認定者数は合計3,271名となった。
- 3) 環境再生医の会
  - ・北海道、10/4、札幌科学技術専門学校、「環境再生活動発表会～多自然(型)川づくりのいままでとこれから」や「私がこれまで担当した業務―圏央道のエコロード設計ほか―」、「円山動物園のビオトープ“動物園の森”の状況と今後考える活用について」、「地域の水保全報告」の計6題の発表があった。
  - ・福島県、5/5、里山の野鳥観察会 in 郡山市逢瀬町  
12/7、「環境再生活動発表会～自然豊かな暮らしをとりもどすために(その2)」、福島県民の森フォレストパークあだたら、参加者約50名
  - ・東京都、11/1、「環境再生活動発表会～地域コミュニティと環境活動」東京大学、参加者約40名
  - ・岐阜県、2/22、「セミナー～神仏習合思想としての白山信仰の背景Ⅱ」白山エコフェ2015、参加者約30名
  - ・兵庫県、8/23・9/20・10/25・11/29、「ボランティア活動～奥須磨公園の水辺環境復元」、参加者合計54名
- 4) 更新・再登録
  - 対象者140名のうち、56.4%の79名が更新を行った。
- 5) その他の活動
  - ・環境再生医制度のデータ検証や分析、制度の充実化の計画を行った。
  - ・テキストの再改定を開始した(2015/8発行予定)。

#### ② 身近な自然環境の保全・復元・維持管理に係る活動

- 1) レンジャーズプロジェクト
  - ・「隊員」登録数が1,850人余になった。多くのミッションで定員になる状況である。
  - ・派遣数が18箇所60回余。先方からの回数増加の希望に対応できない派遣先もある。
  - ・事業収入を確保する営業活動を行い、学校、指定管理者、企業等、新規の顧客先を確保した。
  - ・横浜では、地域の環境NPOと協働してプロジェクトを実施した。
- 2) ドコモ市民活動助成金/モバイル・コミュニケーション・ファンド
  - 「みどりのボランティア希望者と、ボランティア募集团体のマッチング事業」を行った。主な活動内容は、レンジャーズプロジェクトの「スマートフォン向けページ及び初心者向けページの強化」「ボランティアの派遣」「参加レポート等によるコミュニケーションの充実」を行った。
- 3) 三井物産環境基金
  - 「未来の生物多様性保全を担う人材育成プロジェクト(身近な自然での実践習得型環境学習)」をテーマに活動を行った。
  - 主な活動内容としては、①ファミリー向け保全活動プログラム実施に向けた準備(協働団体に対してのヒアリングやハンドブック・ポスター・チラシの作成・印刷等) ②ファミリー向け保全活動プログラムの実施(計4組13名参加) を行った。平成27年度へ継続する。
- 4) 海の森あおぞらフェスタ2014
  - 11月21日(金)～24日(月・祝)に開催された海の森あおぞらフェスタ2014にて、当協会は11月21日(金)9時～12時半にバスツアー「江戸から探る海の森の今昔」を実施した。
- 5) その他の活動

- ・身近な自然環境の保全に関する検討会議等を行った。
- ・海の森用の苗木約170本を育成した。

### ③ 農山漁村の活性化及び環境保全型農林業に係る活動

- 1) 都市農村共生・対流総合対策交付金（宮城県気仙沼市）  
「自然・景観を生かした美しいむらづくり～環境保全型農業と集落営農で若者の雇用の場をつくる！～」をテーマに、大谷いのちをつなぐ田んぼの会より企画・運営・管理業務等を受託しつつ地域活性化の支援活動を行った。
- 2) 都市農村共生・対流総合対策交付金（福島県郡山市）  
「農山漁村における大学・企業等の研修等～大学（ゼミ・研究室・サークル・グループなど）向け：研修プログラムの開発～」をテーマに、逢瀬いなか体験交流協議会より企画・運営・管理業務等を受託しつつ地域活性化の支援活動を行った。
- 3) 平成26年度ため池等汚染拡散防止対策実証事業（福島県飯舘村）  
ため池からの汚染拡散防止対策に有効な計画等を飯舘村が策定するにあたって、必要な調査を実証事業として受託し実施した。
- 4) 水路除染実証実験業務委託（福島県浪江町）  
請戸川下流部の支流河川及び農業用水路における放射性物質の移動についての実態調査を行い、同時に河川の生態系への影響についても調査を行う事により請戸川への放射性物質流入抑制対策立案の基礎資料とすることを目的に実証実験を行った。  
主に「ムロハラ」、「カモン」、「ウケドゼキ」の3地区の用水路において、モミガラ等の有機物を用いた放射性物質吸着用トラップを設置し、定期的に試料採取を行い、実証モニタリングによる汚染状況を把握した。
- 5) ため池等汚染拡散防止対策業務（粃殻流入対策）（福島県葛尾村）
  - i. 実証調査計画策定  
水田への汚染土壌流入対策を葛尾村が計画するにあたり、実際の流入状況の把握調査を行うため、村内2箇所の水稲試験ほ場の水口の汚染状況及び現況状況を抽出調査した。
  - ii. 汚染拡散防止対策工  
実証モニタリングにより汚染状況を把握し、対策を検討した。
  - iii. 実証モニタリング  
村内2箇所の水稲試験ほ場の水口にて、粃殻を用いた放射性物質吸着用トラップを設置した。
  - iv. 実証効果取りまとめ  
水田への放射性物質の流入状況の把握と、国で設ける委員会等への資料作成等を行った。
- 6) い・ろ・は・す“地元の水”応援プロジェクト2014  
日本コカ・コーラ株式会社、公益財団法人コカ・コーラ教育・環境財団、ボトラー社が行った「い・ろ・は・す‘地元の水’応援プロジェクト2014」からの寄付を受け、全国19の水とホテルを保全する団体（以下、19団体という）の活動を支援した。  
当協会では、専門のプロジェクトチームを設置し、水とホテルの保全にかかわる最新の情報や技術を提供するための有識者支援、活力があり永続した活動を行うための方法などをアドバイスする活動支援、水を保全したりホテルの棲む環境を復元・再生する工事を実施する環境再生工事支援の3つの支援活動を行った。また、プロジェクトの終了時に、19団体の人たちが一堂に会して、本プロジェクトにともなう活動の総括と今後の展望などを目的としてワークショップとエクスカージョンを行った。  
プロジェクトチームには有識者・技術者・地域活動家などの専門家が参画するとともに、実際の活動には、環境再生医、会員、レンジャーズ隊員、ボランティアが参加するなど、当協会の総力を結集した支援活動を行った。
- 7) その他の活動
  - ・農山漁村活性化の活動に関する検証や改善、検討会議の開催等を行った。
  - ・宮城県登米市にある福島県民向けの長期保養施設「手のひらに太陽の家」へハーブの贈呈等を行った。
  - ・宮城県気仙沼市の大谷小・中学校における、学校ビオトープの学習会や維持管理対策の検討等を行った。
  - ・11月22日、東京大学にて農林水産省後援シンポジウム「農山漁村の活性化～大学と農山漁村の共生・対流を考える」を開催した。基調講演は生源寺眞一氏（名古屋大学大学院）、事例発表は西野孝徳氏（農林水産省）、杉野卓也氏（東京農業大学）、橋本信氏（拓殖大学北海道短期大学）。

### ④ 自然体験学習に係る活動

- 1月14日、「『内なる自然』ミニシンポジウム～『内なる自然』から人と社会の在り方を考える～」を京（みやこ）エコロジーセンターにて開催した。演者は中村桂子氏（生命誌研究館館長）、菅井啓之氏（京都光華女子大学教授）の2名。

### ⑤ テキスト等の出版に係る活動

テキスト「環境再生医」の改訂に向けた活動を行った。

⑥ 社会啓発や情報発信等に係る活動

1) ニュースレター

春号・夏号・秋冬合併号の3回発行し、会員・環境再生医（認定校卒業の初級者を除く）・寄附者・認定校へ配布した。（計5,500部発行）

2) ホームページ

日々の更新作業とトップページのスライダー変更の準備を行った。

3) エコプロダクツ2014への出展

12月11日～13日、東京ビックサイトにて開催された、エコプロダクツ2014へ出展した。

4) その他の活動

- ・社会啓発や情報発信等に係る活動の検証や改善、検討会議の開催等を行った。
- ・リーフレットの刷新を行った。

⑦ 自然環境の復元の学術的発展に貢献する活動

なし

(2) その他の事業

なし

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額 (千円)
① 環境教育及び環境人材の育成に係る活動	環境再生医資格認定講習	11/23-24 11/1-2	北海道 東京	2人 3人	1人 163人	680
	認定校	通年	全国	3人	287人	690
	環境再生医の会	10/4	北海道	5人	10人	68
		12/7	福島	2人	50人	
		5/5	福島	2人	10人	
		1/11	東京	4人	60人	
		2/22	岐阜	2人	30人	
更新・再登録	通年	全国	3人	79人	198	
その他の活動	通年	全国	3人	4,000人	122	
② 身近な自然環境の保全・復元・維持管理に係る活動	レンジャーズプロジェクト	通年	埼玉、東京、千葉、神奈川	5人	1,800人	1,235
	ドコモ市民活動助成金	通年	埼玉、東京、千葉、神奈川	5人	1,800人	560
	三井物産環境基金	通年	埼玉、東京、千葉、神奈川	5人	13人	786
	海の森あおぞらフェスタ2014	11/21	東京	3人	20人	124
	その他の活動	通年	東京 神奈川	3人 2人	関東圏 東京都民	106

③ 農山漁村の活性化及び環境保全体型農業に係る活動	都市農村共生・対流総合対策交付金（宮城県気仙沼市）	通年	宮城県気仙沼市本吉町	5人	大谷集落地域住民	3,186
	都市農村共生・対流総合対策交付金（福島県郡山市）	通年	福島県郡山市逢瀬町	5人	逢瀬町住民	1,568
	平成26年度ため池等汚染拡散防止対策実証事業（福島県飯舘村）	6/10-12/25	福島県飯舘村	3人	飯舘村農家	15,368
	水路除染実証実験業務委託（福島県浪江町）	5/14-3/24	福島県浪江町	3人	浪江町農家	23,159
	ため池等汚染拡散防止対策業務（粃殻流入対策）（福島県葛尾村）	8/29-3/24	福島県葛尾村	3人	葛尾村農家	555
	い・ろ・は・す“地元の水”応援プロジェクト2014	4月-12月	全国	6人	570人	23,188
	その他の活動	通年 通年 通年 11/22	東京 宮城県登米市 宮城県気仙沼 東京	5人 2人 4人 10人	全国 福島県民 388人 40人	1,481
④ 自然体験学習に係る活動	「内なる自然」ミニシンポジウム	11/22	京都	7人	70人	287
⑤ テキスト等の出版に係る活動	テキスト「環境再生医」の改訂	通年	全国	10人	0人	0
⑥ 社会啓発や情報発信等に係る活動	ニュースレター	通年	東京	3人	4,321人	1,667
	ホームページ	通年	東京	3人	全国	52
	エコプロダクツ2014	12/11-13	東京	3人	161,647人	358
	その他の活動	通年 通年	東京 東京	3人 3人	5,500人 3,000人	51
⑦ 自然環境の復元の学的発展に貢献する活動	なし					0
合 計						75,489

(2) その他の事業  
なし